

# 秋田県書道連盟会報

第 129 号

秋 田 県 書 道 連 盟

事務局

秋田市泉菅野一丁目18-1

三浦湯舟

長沼雅彦

発行人 長沼雅彦

編集 広報部

(題字：長沼雅彦)

<http://www2.tbb.t-com.ne.jp/aki-shodorenmei/>



秋田県書道連盟 会長

佐川 博之

極度の近眼。分厚い眼鏡を板すれすれに近づけ、一心不乱に彫刻刀を振るう姿がなんとも衝撃的だった。確か中学のころだったか、たまたまテレビのドキュメンタリー番組で見た版画家・棟方志功である。

ねじり鉢巻き。口を開けば、隣県人である私たちも理解が及ばない津軽弁が飛び出す。菩薩や裸婦の版画で世界的に知られる芸術家なのだ。何かに取り憑かれたように作品づくりに没頭する様は力強く、神々しくもあり、見ようによつては滑稽でもある。不思議な魅力を持った人間、芸術家として、棟方は以来、私の心に深く刻まれた。とはいっても、作品集を時折眺める程度のファンに過ぎないのだが…。

8月に仕事で青森を訪れた際、棟方志功記念館に立ち寄ってみた。一度は訪ねてみたいと思いつつ機会に恵まれずにいたのだが、2023年度末に閉館すると聞いて、居ても立ってもいられなくなつた。

「青森が生んだ世界のムナカタ」の業績を広く伝えるため、記念館は棟方が死去した1975年に開館した。約2千点の作品を収蔵し、国内最大のコレクションとして知られる。ピーク時には年間6万7千人もの人が訪れたが、新型コロナの影響で来館者が年間6、7千人程度まで落ち込んだ。建物の老朽化なども閉館理由なのだそうだ。

アプローチに日本庭園を配するなど、閑静なたたずまい。展示スペースは意外なほど狭いのだが、これは「作品を一点ずつじっくり見たい」という棟方の意向を受けた設計なのだという。

ロビーに入った途端、懐かしさがよみがえってきた。「彫る 棟方志功の世界」と題する30分ほどの記録映画が繰り返し上映されていたのだ。そこには、板木と一心同体かと錯覚させるほどに顔を近づけ、彫刻刀を動かす、中学生時代に見たあの棟方がいた。「どうも、お久しぶりです」。心の中でそう話しかける自分がいた。

昨年の本会報で、私は小説家の書齋が気になる性分だと書いた。小説家に限らず、無から有を生み出すような創造的な仕事をしている人の発想工房をのぞき見ることに快樂さえ覚える。

棟方の記念館でも私の興味の対象は、あのなれども言えぬ魅力をまといつていた生前の棟方

の、作品づくりの工程の一端に触れられるかどうかにあつた。展示室に入つてまもなくそれを発見。棟方が魂を吹き込むように全身全霊を込めて彫った板木と、愛用していた彫刻刀が展示されていた。これだけで来たかいがあるというものだ。

これら収蔵品は、記念館閉館に伴い、青森県立美術館の専用展示室に移管されることになるという。移管を機に「世界のムナカタ」の発想の源が一目で分かり、棟方の息遣いが伝わってくるようなアトリエを再現できないものだろうか、などとぼんやり考えながら、盛夏の青森を後にした。

~~~~~

今年から秋田書道展覧会の審査主査を、創玄書道会名誉会長・日展会員の石飛博光さんに務めていただきます。昨年11月、正式依頼のため、東京・足立区のご自宅を訪問した際、近くにあるアトリエに案内していただきました。潇洒な3階建てで、2階が作業スペースになっており、壁一面の書棚には自著を含めた書道関連資料が収蔵されていました。デスク脇には愛用の筆がずらり。1階は資料や作品収蔵室、3階は作品展示コーナー。書家・石飛さんのすべてが凝縮された建物でした。



# 令和5年度定期総会

● 日 時 令和5年4月30日(日)  
10時30分～11時30分

● 会 場 イヤタカ(秋田市)

本年度定期総会がイヤタカにて開催されました。役員改選で会長に佐川博之、理事長に長沼雅彦が再任されました。任期は2年です。

- 会 長 佐川 博之  
理 事 長 長沼 雅彦  
副 理 事 長 藤原 豊道  
参 与 後藤 武之  
常 任 理 事 北 島 龍門  
三 浦 湯 舟 (総務 副 部 長)  
山 谷 喜 元 (総務 副 部 長)  
齊 藤 玲 子 (総務 副 部 長)  
竹 村 天 祐 (研 修 部 長)  
富 樫 弥 恵 子 (研 修 部 長)  
道 川 屋 悟 (展 覧 会 部 長)  
伊 藤 雅 人 (展 覧 会 副 部 長)  
深 井 春 祥 (広 報 部 長)  
東 海 林 汎 山 (広 報 副 部 長)  
長 沢 薫 (広 報 副 部 長)  
上 野 泰 秋 (広 告 部 長)  
黒 木 天 籙  
棟 方 幸 人 (秋 田 魁 新 報 社)

## 令和5年度 事業計画

|     | 総務部                                                                                         | 研修部                             | 展覧会部                                                                             | 広報部 (ITを含む) | 広告部                                                                                                                                 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月  | 正副部長会議<br>4月9日(日)10時<br>監査会<br>4月20日(木)10時<br>理事・常任理事会<br>4月30日(日)9時半<br>総会<br>4月30日(日)10時半 | 研修会<br>4月30日(日)<br>11時半         |                                                                                  |             | 会報発行・県書道連盟展に向けた広告依頼活動(総務部)<br><br>連盟ホームページの管理運営(連盟の紹介、組織図、行事カレンダーの作成、各種行事の参加者募集、会報のインターネット公開、等々)<br><br>書初め大会と新春小品書展に向けた広告依頼活動(広告部) |
| 5月  | 理事会5月14日(日)13時半<br>県芸文協決算総会<br>5月25日(木)<br>正副部長会議・活性化委員会 5月28日(日)15時                        |                                 |                                                                                  |             |                                                                                                                                     |
| 6月  |                                                                                             |                                 |                                                                                  |             |                                                                                                                                     |
| 7月  |                                                                                             |                                 |                                                                                  |             |                                                                                                                                     |
| 8月  | 筆供養・懇親会<br>8月26日(土)<br>神事：15時半<br>(日吉八幡神社)<br>懇親会：16時<br>(パークホテル)                           |                                 | 県書道連盟展<br>(さきがけホール)<br>8月24日(木)～27日(日)                                           |             |                                                                                                                                     |
| 9月  |                                                                                             |                                 |                                                                                  | 会報発行(129号)  |                                                                                                                                     |
| 10月 |                                                                                             | 実技研修会<br>10月8日(日)14時<br>懇親会 17時 |                                                                                  |             |                                                                                                                                     |
| 11月 |                                                                                             |                                 |                                                                                  |             |                                                                                                                                     |
| 12月 | 書初め準備会議<br>(県立武道館)<br>12月3日(日)13時半                                                          |                                 | 県芸文協会議<br>(フォンテ秋田)                                                               |             |                                                                                                                                     |
| 1月  | 新春書初め席書大会<br>(県立武道館)<br>1月7日(日)<br>書初め展覧会<br>(さきがけホール)<br>1月25日(木)～28日(日)<br>授与式 1月28日(日)   | 新年研修会<br>1月21日(日)14時<br>懇親会 17時 | 新春小品書展<br>(さきがけホール)<br>1月25日(木)～28日(日)<br>書初め展覧会<br>(さきがけホール)<br>1月25日(木)～28日(日) |             |                                                                                                                                     |
| 2月  |                                                                                             |                                 |                                                                                  |             |                                                                                                                                     |
| 3月  | 県芸文協予算総会                                                                                    |                                 | 秀作美術展<br>(県芸文協主催)<br>3月 7日(木)～10日(日)                                             | 会報発行(130号)  |                                                                                                                                     |

令和5年度 収支予算

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

収入総額 2,045,000円  
支出総額 2,045,000円  
差引残額 0円

収入の部

(単位：円)

| 費 目    | 前年度予算額    | 本年度予算額    | 比較増減     | 備 考                  |
|--------|-----------|-----------|----------|----------------------|
| 前年度繰越金 | 326,819   | 458,710   | 131,891  |                      |
| 会費     | 660,000   | 630,000   | △ 30,000 | 本年度分 @3,000円 *210名   |
| 寄付金    | 118,000   | 116,000   | △ 2,000  | 常任理事・理事 @2,000円 *58名 |
| 事業収入   | 840,000   | 840,000   | 0        | 広告料、連盟展出品料 各事業収入     |
| 雑収入    | 181       | 290       | 109      | 利息等                  |
| 合 計    | 1,945,000 | 2,045,000 | 100,000  |                      |

支出の部

(単位：円)

| 費 目     | 前年度予算額    | 本年度予算額    | 比較増減     | 備 考              |
|---------|-----------|-----------|----------|------------------|
| 事務費     | 300,000   | 270,000   | △ 30,000 |                  |
| 消耗品費    | 31,000    | 31,000    | 0        | 文具品、出納簿、コピー、諸費   |
| 通信費     | 124,000   | 90,000    | △ 34,000 | 郵送料、切手、案内ハガキ     |
| 会議費     | 80,000    | 80,000    | 0        | 役員会議会場費等         |
| 交通費     | 50,000    | 50,000    | 0        | 役員会議旅費           |
| 諸費      | 15,000    | 19,000    | 4,000    | 振り込み手数料等         |
| 事業費     | 1,531,000 | 1,643,000 | 112,000  |                  |
| 総務部費    | 40,000    | 40,000    | 0        | 事務打合せ会場費等        |
| 研修部費    | 150,000   | 150,000   | 0        | 研修会、新年研修会、講師謝礼等  |
| 展覧会部費   | 253,000   | 253,000   | 0        | 県書道連盟展等          |
| 広報部費    | 50,000    | 208,000   | 158,000  | 会報送付・ホームページ管理経費等 |
| 広告部費    | 65,000    | 65,000    | 0        | 活動諸費             |
| IT部費    | 98,000    | 0         | △ 98,000 | 広報部と統合           |
| 連盟展事業費  | 230,000   | 190,000   | △ 40,000 | 連盟展会場費、目録、ハガキ    |
| 書初め大会費  | 77,000    | 77,000    | 0        | 書初め席書大会補助金       |
| 印刷出版費   | 467,000   | 560,000   | 93,000   | 会報印刷費、諸会合資料      |
| 筆塚供養費   | 51,000    | 50,000    | △ 1,000  | 供養謝儀、参加者（子供）記念品代 |
| 活性化委員会費 | 50,000    | 50,000    | 0        | 通信費、会場費等         |
| 負担金     | 30,000    | 30,000    | 0        | 県芸文協へ 30,000円    |
| 表彰費     | 5,000     | 5,000     | 0        |                  |
| 慶弔費     | 20,000    | 20,000    | 0        |                  |
| 雑費      | 3,000     | 3,000     | 0        |                  |
| 予備費     | 56,000    | 74,000    | 18,000   |                  |
| 合 計     | 1,945,000 | 2,045,000 | 100,000  |                  |

令和5年度 第15回秋田県新春書初め席書大会 予算

席書大会 令和6年1月7日(日)  
展覧会日 令和6年1月25日(木)～1月28日(日)

収入総額 1,020,000円  
支出総額 1,020,000円  
差引残額 0円

収入の部

(単位：円)

| 費 目   | 前年度予算額    | 今年度予算額    | 増 減 | 備 考                                                                          |
|-------|-----------|-----------|-----|------------------------------------------------------------------------------|
| 広告協賛金 | 600,000   | 600,000   | 0   | 協賛社40件 1件15,000円                                                             |
| 参加費   | 320,000   | 320,000   | 0   | 大学以下 計480人 一般 80人<br>480人× 500円=240,000円<br>80人×1,000円= 80,000円<br>200円×110枚 |
| 薄茶席売上 | 22,000    | 22,000    | 0   |                                                                              |
| 雑収入   | 1,000     | 1,000     | 0   |                                                                              |
| 連盟補助金 | 77,000    | 77,000    | 0   |                                                                              |
| 合 計   | 1,020,000 | 1,020,000 | 0   |                                                                              |

支出の部

(単位：円)

| 費 目          | 前年度予算額    | 今年度予算額    | 増 減 | 備 考               |
|--------------|-----------|-----------|-----|-------------------|
| 魁広告掲載費       | 385,000   | 385,000   | 0   | 魁新聞紙上掲載           |
| オープニング行事委託費  | 40,000    | 40,000    | 0   |                   |
| お雑煮等委託費      | 200,000   | 200,000   | 0   | 1,000食分の材料費、その他経費 |
| 薄茶席委託費       | 50,000    | 50,000    | 0   | 茶席委託              |
| 華道連盟委託費      | 40,000    | 40,000    | 0   | 生け花展示委託           |
| 書道パフォーマンス委託費 | 60,000    | 60,000    | 0   | 用紙代、及びその他経費       |
| 司会委託費        | 10,000    | 10,000    | 0   |                   |
| 通信費          | 50,000    | 50,000    | 0   | 関係先への文書郵送料        |
| 消耗品費         | 80,000    | 80,000    | 0   | 用紙、文具等            |
| 印刷製本費        | 15,000    | 15,000    | 0   | インク代等             |
| 雑費           | 2,000     | 2,000     | 0   | 振り込み手数料等          |
| 表彰費          | 20,000    | 20,000    | 0   | 表彰品代              |
| 筆耕費          | 40,000    | 40,000    | 0   | 賞状筆耕料             |
| 人件費          | 28,000    | 28,000    | 0   | 作品展示補助作業          |
| 合 計          | 1,020,000 | 1,020,000 | 0   |                   |



議長に選出された吉井雅子さん



会計監査を報告する小松清肇さん



受付の様子



役員改選



佐川会長よりあいさつ



資料に目を通す出席者の皆様



長沼理事長よりあいさつ

12時30分～14時30分



懇親会

11時30分～12時30分

講師 伝統工芸士・進誠堂社長・墨匠  
伊藤晴伸氏

講師の伊藤晴伸氏とリモートで結び、  
オンラインでの開催。

研修



活性化委員  
委嘱状交付



熱心に耳を傾ける会員の皆様

副理事長

充実の連盟



藤原 豊道

今期も引き続き副理事長を引き受けることになりました。

前期はコロナ禍のため、世の中各種行事が縮小や中止に追いこまれる日々であった。

そうした厳しい中であっても、当連盟会員の力強い結束により各部の活動が滞る事なく実施出来たことは大きな成果であります。

令和五年度は各部と活性化委員会の正副部長会議により、事業計画の活動開始となりました。

8月24日から27日まで連盟最大行事である第62回県書道連盟展が開催されます。約1000点、会員の力強い努力作品を鑑賞出来るのが楽しみです。

会期中、互評会、筆塚神事、懇親会も実施されます。

研修会に於いては、長いこと出来なかつた実技研修会を期待。

書初め席書大会は、武道館改修工事、コロナ禍による公募形式だったが、今年は武道館で各行事と共に、学生達の元気な席書姿が見られることとなります。

会員による充実した活動を期待し、その一助になるよう頑張りたいと思っております。

副理事長

連盟活動の充実に向けて



後藤 武之

このたびの役員改選により、三期ぶりに副理事長を務めることになりました。改めて責務の重さを感じるとともに、身の引き締まる思いであります。

情報化社会の進展や新型コロナウイルス感染症の広がりにより、価値観やライフスタイルの多様化が進んでいることを感じます。こうした時代の変化の中で、連盟の活動はどうあるべきか、会員の皆様とともに考えながら取り組んでいく所存です。

当連盟の充実・発展に向け皆様の御支援と御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

総務部

書道文化の発展の為に



三浦 湯舟

総務部部長

毎日猛暑続きで、また秋田はこの度思ってもみなかつた水害に見舞われ、今まで経験した事の無い事が次から次へと起きて、今年には厄年かと思っております。

第62回秋田県書道連盟展の期

間中、毎年恒例の筆供養と連盟展懇親会が今年も行われます。暑さの中大勢の子供達、保護者の皆様が集まって使い古した筆を筆塚に納める筆供養は、書道連盟ならではの行事です。また、冬には新春書初め大会がございます。ここ3年間はコロナが猛威を振るっていた為、また武道館の改修工事の為に魁ホールに於いて書初め展覧会として続けてまいりましたが、今年からまた、大勢の子供達が武道館に集い、その場で今まで書の勉強を積んできた実力を競い合い、書き上げた後には、お汁粉やお雑煮を食べ、書のパフォーマンスを見たり、先生達と文芸とのコラボで先生達が会場で揮毫する所を見たり、武道の演技を見たりと盛り沢山の楽しい一日を過ごすのが毎年の書道連盟の大きな行事として定着しております。秋田県の書道文化に我が連盟が貢献する事が出来ます事は、大変うれい事でございます。今年は、新しく何が出来るか考えて実行出来たら良いと思っております。今後とも会員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

- 副部長 山谷 喜元
- 副部長 齊藤 玲子
- 副部長 池端 千佳・竹村 和佳
- 副部長 伊藤 京子・大黒 禾苑
- 副部長 碩 伸子・前田 祥穂
- 副部長 保坂 潤子・横山 由希

活性化委員 佐藤紀公子・小坂 白悠  
横山 由希

展覧会部

展覧会部のありよう



道川屋 悟

展覧会部部長

今年度から展覧会部長を仰せつかりました。これまでの副部長の経験を生かして展覧会と展覧会部をより発展させたいと思っております。

また、これまで部の運営に協力してくれた部員の方々ありがとうございました。

さて8月の連盟展ですが会員の1000点と震災コーナーに6校の高校生の作品73点に会員の6点と出品協力ありますがございます。続いて令和6年1月の書初め展覧会と同時開催の小品書展、3月の秀作美術展と部員の皆様の協力を得ながら多くの会員の参加を得られるよう努めて参ります。

- 副部長 伊藤 雅人
- 副部長 角田 萩瑛・鎌田 江葉
- 副部長 小坂 白悠・小松 璐秋
- 副部長 佐々木青爛・保坂 省峰
- 副部長 堀井智香子・山口美代子
- 副部長 津島 一美・石井 竹華
- 副部長 伊藤 恵雪・齊藤 孝快
- 副部長 藤原 瑛翠

広報部

新生広報部、始動！



広報部部长  
深井 春 祥

この度の総会で、広報部長という大役を仰せつかりました深井春祥と申します。

当部は、年2回の会報の発行が主な仕事になりますが、構成案の作成・検討、原稿の依頼・作成、印刷業者への発注、校正、会員への発送等、工程は多岐にわたります。

そのため、部員各自が役割を持ちながら、「親しみやすい」、「分かりやすい」、「楽しい」誌面づくりを目指します。

連盟行事や各種展覧会では、私自身がカメラを持ち、皆様のベストショットを狙っていますので、その際は満面のスマイルで御協力をお願いいたします。新生広報部、スタートします。皆様どうぞよろしく願います。

- 副部長 東海林汎山・長沢 薫
- 部 員 佐藤紀公子・千田 寿山
- 佐藤 聖賢・佐藤 洲華
- 棟方 幸人

研修部

ハイブリッド研修



研修部部长  
竹 村 天 祐

今年度、研修部長の大役を仰せつかりました竹村天祐です。元来不勉強で研修とは縁遠い私ですが、現職の高校芸術科書道担当教員として今まで得た経験と知識を生かした研修を進めていきたいと思えます。

今年の総会ではコロナ禍の研修の一案として、リモートによる講演会を行いました。書道連盟の予算には限りがあり、交通費をかけて講師の先生を遠方からお招きできませんでした。しかし、リモートでは交通費がからずにお話を伺うことができず。また、学校にもICT化の波が入ってきて、児童生徒はひとり1台のタブレットを日常的に使っています。皆さんの書道教室に通う塾生もそのような環境で学習していますので、私達もそれに無関心ではいられません。それも書道に生かしたいものです。

- 副部長 富樫弥恵子
- 部 員 千田 寿山・阿部 公美
- 大山 美泉・会津千寿子
- 伊藤 清子

広告部

雑感



広告部部长  
上 野 泰 秋

引き続き広告部長を仰せつかりました。書初め席書大会と小品書展の広告掲載にあたり、協賛・協力をいただいております。秋田魁新報社、長沼理事長はじめ連盟役員の方々、各広告主の皆様にお礼申し上げます。書初めと小品書展合わせて115社、97万3千円の収入となりました。

ところで、自身の講演がコロナ前に戻りつつあります。その中の話題からいくつか・・・「最高気温が約30度前後」「駅から大体百メートル位」身内のアナに対して「ご存知ですか」「満面の笑顔」と今時のアナ、全部間違いです。書道を教えている先生が入賞ではなく入選ですか、厳しいですね。書道は大変なんですよ・・・

次回に向けて広告どりに入っています。約130社と連絡を取ります。今後共、宜しく願います。



総合書道用品販売

- ◎展覧会・企画・展示
- ◎〈表具〉〈額装〉〈軸装〉
- ◎各種展覧会搬入搬出承ります
- ◎文房四宝・低価格にて提供しております

株式会社 クラヤ

〒010-0952 秋田市山王新町4-5  
TEL 018-863-6001 FAX 018-863-6004  
ホームページアドレス <http://www.1ocn.ne.jp/~kuraya>  
メールアドレス [kuraya@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:kuraya@seagreen.ocn.ne.jp)

那 墨痕あざやか 波

あなたの筆勢を伝える筆。  
「書」の心をうつす墨、紙。

那波紙店

〒010-0921  
秋田市大町四丁目3-35  
☎ 018-823-4311 代

# 秋田県書道連盟展

# 第63回秋田県書道連盟展特集

日時 8月24日(木)～27日(日)

初日 午後1時～午後5時

期間中 午前10時～午後5時

最終日 午前10時～午後3時

場所 さきがけホール

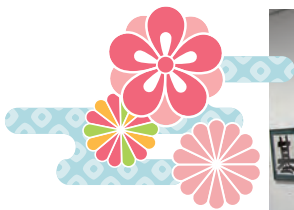
初日の午前9時から搬入、展示作業が行われ、連盟会員100点の作品が展示されました。

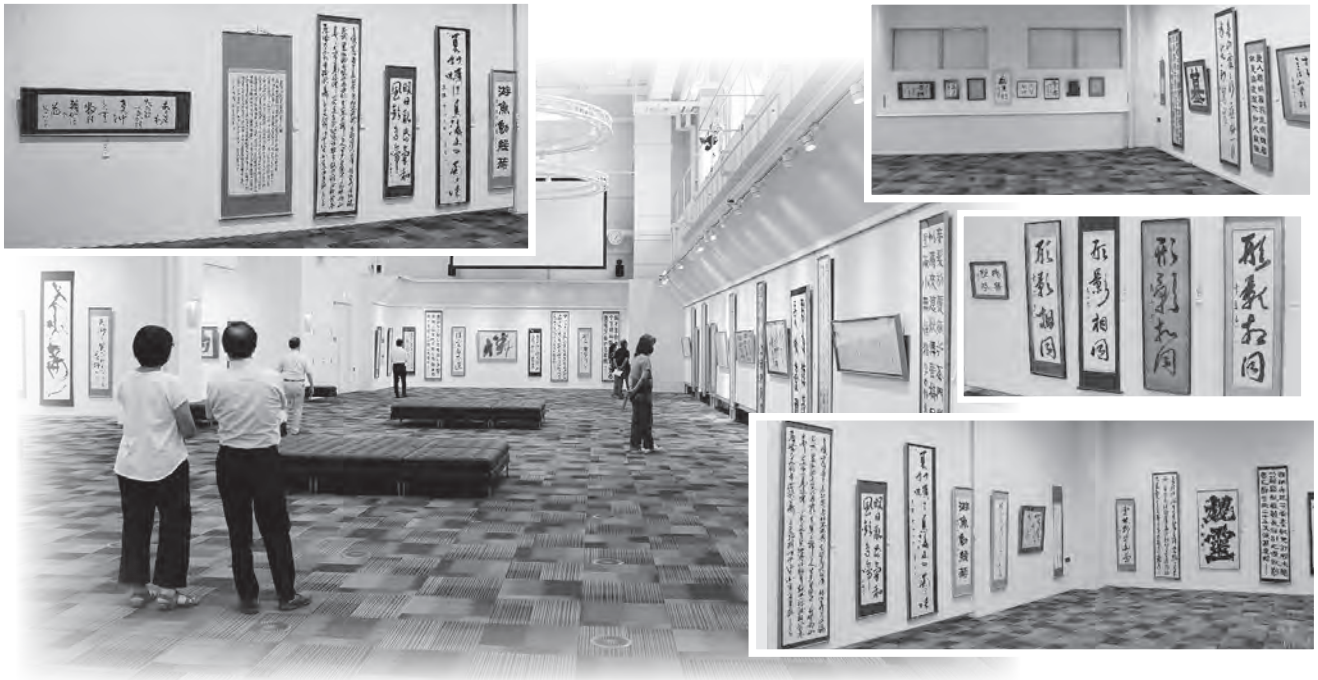
### 【受付当番】

- 24日午前 角田 萩瑛・佐々木青爛
- 保坂 省峰・道川屋 悟
- 津島 一美
- 午後 佐々木青爛・道川屋 悟
- 伊藤 雅人
- 小坂 白悠・石井 竹華
- 伊藤 惠雪
- 25日午前 保坂 省峰・伊藤 雅人
- 保坂 省峰・藤原 瑛翠
- 午後 小松 璐秋・伊藤 雅人
- 津島 一美
- 26日午前 佐々木青爛・堀井智香子
- 津島 一美
- 午後 佐々木青爛・道川屋 悟
- 伊藤 雅人
- 27日午前 伊藤 雅人
- 午後 伊藤 雅人



第63回秋田県書道連盟展  
 会期 令和5年8月24日(木)～27日(日)  
 10時～17時(初日13時～最終日15時止)  
 入場無料





**互評会**

26日(土)午後1時半、  
今後の創作活動の指針と  
なるよう、「互評会」が行わ  
れました。



# 震災復興 応援メッセージ コーナー

東日本大震災以降、秋田での国民文化祭(第29回国民文化祭・あきた2014)が平成26年に開催されました。時間の経過とともに風化しがちな被災地への思いを、書のもつメッセージ性を生かし、復興応援したいという趣旨ではじまりました。以降、秋田県書道連盟展では毎年通常展に加えて継続してきました。

連盟会員から6点、高校生から73点、計79点が展示されました。

### ●「被災地への思いを筆にのせて」

東日本大震災から12年が経過しましたが、被災地の傷跡は今でも完全に癒えることなく、また全国各地で自然災害が頻発しています。その復興応援と防災について改めて考える機会とするため、秋田北高生12名と聖霊高校生3名に取り組んでもらいました。7月の豪雨で予定の授業がなくなり、限られた生徒の参加となってしまうしましたが、被災地への思いを寄せて、生徒たちは真摯に筆をとりました。(秋田北高校・聖霊女子短期大学付属高校 指導者 後藤 武之さん)

### ●「震災復興メッセージ展に参加して」

今年度、初めて秋田県書道連盟に参加し、震災復興メッセージ展にも初めて生徒作品を出品いたしました。同じ東北でも秋田県は、東日本大震災では太平洋側に比べそれほど大きな被害はなく、生徒がどんな言葉で被災者の生活や復興、未来を思うのか、自分では難しく感じ心配でした。しかし、生徒たちはそれほど悩むことなく言葉を決め、書道字典で好きな書体を調べて書きました。今年の夏は秋田県内の水害での被害も大きく、ともに見舞い申し上げます。練習不足のメッセージでもありますが、気持ちをお届けすることが大切と思いいしめました。(能代松陽高校 指導者 池端 千佳さん)

### ●「心を込めて」

学校行事等が多く、練習も指導も儘ならない部活動の態勢の中で、初めて応募させていただきました。東日本大震災が起きた時、生徒達は幼年でしたので、まず大惨事の説明から始まり、応援メッセージと言っても実際「？」という感じでした。深く傷ついた心へ応援できる言葉なんてあるのかと私自身に問いながら、忘れてはいけない「あの日」について改めて考えさせられたことに感謝しております。(由利高校 指導者 会津 千寿子さん)

### ●「願いを込めて」

私が東日本大震災復興応援メッセージ展に書いた文字は「絆」です。震災当時の私はまだ幼く、地震というものがどれだけ恐ろしいものなのかを理解することができませんでした。しかし、電気がつかず不安だったとき、近所の人と助け合って過ごしたことは今でも私の記憶に残っています。

震災を通して、人と人との絆が大切だと感じました。だからこそ、これからも絆を大切にしていきたい。そして、世の中が平和であってほしいと願いを込めて「絆」を書きました。(御所野学院高校 3年 大坂菜心見さん)

### ●「若い世代へ繋ぐ」

「3.11、書文化への影響を知り、考えよう」という授業を、あの日から毎年行っています。今回は雄勝硯の更なる復興を願

い、「硬筆」授業選択者が、心を込めて写経を書きました。清書の日、大雨による被害が発生し、休校になりました。期限内に間に合った作品のみの出品となりました。夏休み明けの授業で全員が書き上げることができました。この経験が、将来何らかの形で復興に繋がっていくきっかけになれば幸いです。(秋田商業高校 指導者 長沢 薫さん)



# 筆供養神事 ～使ひ終えた愛用の筆に感謝して～

8月26日(土)、午後3時30分から日吉八幡神社にて開催されました。2001年に連盟が建立した筆塚に、玉串を捧げた後、筆を納めました。文房四宝の一つ、筆に感謝し、書の上達を願うことを目的に毎年行っております。



たくさん練習でお世話になった筆に、感謝を込めて筆塚へ

**式次第**

開式のことば  
 修祓しゆはつ  
 祝詞奏上のりとをうまひ  
 玉串奉奠たまぐしほうてん  
 神事終了  
 理事長あいさつ  
 筆を筆塚へ  
 閉式のことば



たくさん保護者、子ども達が参加しました



筆塚



宮司 番場千里さん



長沼理事長より子ども達へあいさつ



代表 佐藤唯花さん



代表 佐藤汐音さん

### 参加しての感想

● 私は書道を習い始めて約四年になりますが、初めて筆供養に参加させていただきました。

これまでの書道と向き合った日々を思い出し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これからは、今まで以上に書道道具を大切にし、練習に励んでいきたいと思えます。(小坂白悠さんお教室山王中学校 一年 佐藤唯花)

### 参加者

#### 前田祥穂先生教室

- 川原 百華 秋田市立牛島小学校 1年
- 千葉 昊 秋田市立大住小学校 3年
- 千葉 翠 秋田市立大住小学校 5年
- 泉 菜月 秋田市立牛島小学校 5年
- 吉田 葵 秋田市立牛島小学校 5年
- 川原 千鶴 秋田市立牛島小学校 5年

#### 相原蕙花先生教室

- 畠山 玲奈 秋田市立川尻小学校 3年
- 畠山 葵偉 山王幼稚園 年長
- 畠山 一華 山王幼稚園 年少
- 石黒 衣彩 秋田市立川尻小学校 5年

#### 小坂白悠先生教室(白悠書院)

- こさかゆづき 秋田市立八橋小学校 1年
- さとう ほの 秋田大学附属小学校 2年
- 佐藤 彩花 秋田市立川尻小学校 4年
- 佐藤 彩良 秋田大学附属小学校 5年
- 佐藤 唯花 秋田市立山王中学校 1年

#### 成田昌子先生教室

- 橋本 りさ 男鹿市立脇本第一小学校 6年
- 小玉 りな 男鹿市立脇本第一小学校 6年

#### 瀧の会

- 佐藤 汐音 秋田市立土崎中学校 3年

# これまでの主な展覧会(連盟会員)

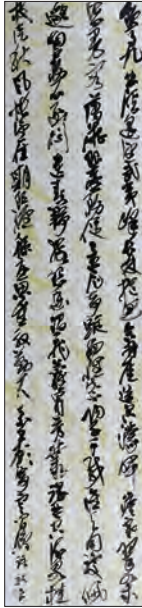
## 第65回 秋田県美術展覧会(県展)

6月23日(金)～28日(水)  
にぎわい交流館A U 2階展示ホール  
▼写真は、秋田魁新報社提供

県展は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザインの7部門があり、各分野で活躍する作家7人が審査をしました。書道は中村伸夫さんが担当され、「全体的なレベルは高く、表現方法を試行錯誤し念入りに作られている。行書と草書で8割を占め、日常的な筆文字である楷書が他県に比べて少なかったのは残念。」と講評。

### ◆特賞 (秋田市市長賞)

小松 璐秋 (秋田市) 「劉基詩」



「川の流れるように」

初めて特賞を受賞してから十年の歳月が流れ、この度二度目の受賞をすることができました。

本当に嬉しく、また光栄な事で



あり、深く感謝申し上げます。

毎年次から次へと作品制作に追われる中、いつも余裕のある線を書きたいと願い、今回の作品についても力まず明るくスッキリした作品を目指し、パンクしそうになりながらも仕上げました。

年々体力気力が衰えるのは当然の事ではありませんが、朽ちるのではなく熟していくようになり、川の水が流れる如く心のままに筆が動いてくれたらどんなに楽しいことかと夢見ております。

どうぞこれからもご教示賜りますようよろしく  
お願い申し上げます。

### ◆奨励賞

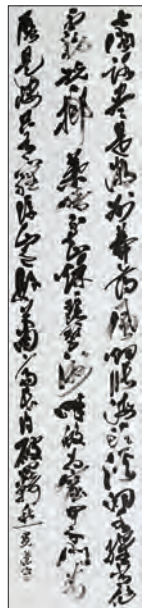
長沢 薫 (秋田市) 「李白詩」



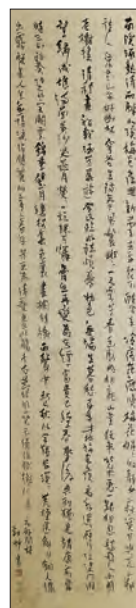
「広い視野で」

円転する筆致を特徴とする簡帛をベースにしたり。「多様な書を学び、書きたい」昔も今も変わらず。他分野の方からの感想も大切に広い視野を持ち精進していきたい。温かい言葉を掛けてくれた皆様に感謝いたします。

伊藤 晃蘭 (五城目町) 「余寅詩」



伊藤 勁草 (由利本荘市) 「元好問詩」

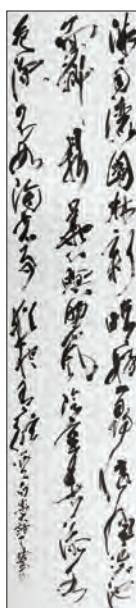


「皆様に感謝」

この度の奨励賞受賞、心より御礼申し上げます。運営委員の先生方、関係者の皆様、書の友人の先生方に深く感謝申し上げます。

退職後は、多字数の作品制作に挑戦し、気負わず試行錯誤しながら楽しんでおります。

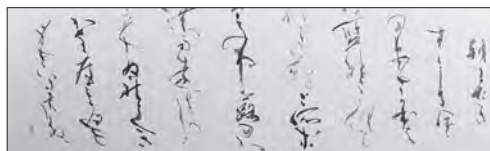
竹村 天祐 (大仙市) 「履道の春居」



「五言律詩は四十字」

最近、全てが億劫だ。漢字の作品は七言律詩を書くが、多くの字を書くのは「メンドー」(私一応剣道参段)だ。そこで、五言律詩をゴイゴイと書いた。1枚書いた、脱字した。2枚目書いた。フリーリング重視でこれを出した。

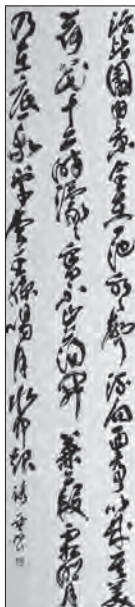
前田 祥穂 (秋田市) 「長塚節の歌」



「感謝しつゝ」

「守破離」と言われますが、未だ守の域で四苦八苦の連続です。また、世の中は尋常ならぬ気象の変化、五類以降も続くコロナ感染に侵略戦争と悲しい出来事が沢山。その中でも筆を手にするのが有り難く、感謝の日々です。

恵比原瑠琴 (秋田市) 「袁枚詩」



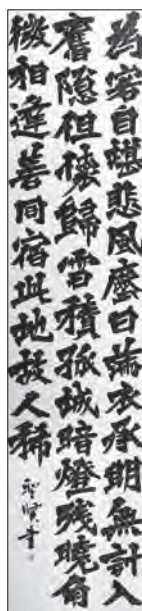
「今(き)ま(今)」

学生の頃から明清時代の行草書に魅せられ、作風を学んでいます。試行錯誤を繰り返す苦戦の日々ですが、今後も地道に継続し、また、仕事にも生かしていくつもりです。

今回、書道選択の生徒を引率し、作品鑑賞の機会を作りました。書の様々な分野や表現の美しさ、面白さを伝えていきたいです。



佐藤 聖賢 (秋田市) 「馬載詩」



「奨励賞を受賞して」

この度は、秋田県展奨励賞を戴き大変光栄に存じます。

臨書を重ねた上で自己の書風を確立、発展(創作)出来るように精進していきたいと思えます。

佐藤 直哉 (にかほ市) 「保養鬱散」



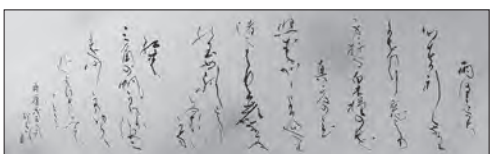
「無題」

秦の私印を参考にした作。秦篆の曲線美と、鑿刻(秦印の製法)の直截的な線質の調和を想定した。あまり慣用句を題材とすることは無いが、自身の気分合っていたことと、字ツラの良さに魅かれて制作してみた。

◆人選

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 佐々木青爛 (秋田市) | 宇佐美桂月 (秋田市) |
| 長谷川流石 (秋田市) | 角田 萩瑛 (秋田市) |
| 浅野 玉韻 (秋田市) | 東海林龍文 (秋田市) |
| 川田 直政 (秋田市) | 田村 芳汀 (秋田市) |
| 藤本 佳幸 (秋田市) | 松橋 聖泉 (秋田市) |
| 鎌田 江葉 (秋田市) | 石川 抱鶴 (秋田市) |
| 古田 柯香 (秋田市) | 大黒 禾苑 (秋田市) |
|             | 小坂 白悠 (秋田市) |
|             | 一ノ関清山 (秋田市) |

佐藤 哉子 (横手市) 「斎藤茂吉の歌」



「書きたいものを」

納得できる作品にはいつも程遠いものがありますが、今回は、今書きたいと思うものに近い作品となりました。好きなもの、書きたいものに勝るものはなく、これからも書き続けていきたいと思えます。



- |              |              |
|--------------|--------------|
| 近藤 鈴羊 (大館市)  | 岡本真貴子 (刈本荘市) |
| 佐藤 珠苑 (北秋田市) | 齊藤 孝快 (大仙市)  |
| 池端 千佳 (能代市)  | 奥山 朱鳳 (大仙市)  |
| 横山 由希 (男鹿市)  | 伊藤 貴道 (大仙市)  |
| 成田 昌子 (男鹿市)  | 小松 清峯 (大仙市)  |
| 竹村 和佳 (男鹿市)  | 齊藤 暁苑 (大仙市)  |
| 小玉 豊光 (五城目町) | 佐藤紀公子 (美郷町)  |
| 深井 春祥 (潟上市)  | 山口 顕正 (仙北市)  |
| 佐藤 穎 (潟上市)   | 八柳 竹耀 (仙北市)  |
| 菅原 紫雲 (潟上市)  | 佐藤 有希 (仙北市)  |
| 千田 寿山 (井川町)  | 鈴木 昭子 (横手市)  |
| 佐藤 晃山 (井川町)  | 佐々木采嘉 (横手市)  |
| 津島 一美 (刈本荘市) | 佐藤 瑩葩 (横手市)  |
| 熊谷 貞子 (刈本荘市) | 眞田 錦水 (横手市)  |
| 菊地 謙二 (刈本荘市) | 木村 光楊 (湯沢市)  |
| 軽部 桃香 (刈本荘市) | 高橋 暘雲 (湯沢市)  |

# 第39回 読売書法展

東北展は10月25日(水)～29日(日)  
山形美術館・山形県芸文美術館

### ●読売奨励賞

佐藤紀公子 (美郷町) 漢字

### ●秀逸

一ノ関清山 (秋田市) 漢字  
佐々木汪心 (秋田市) 漢字  
加賀谷里萩 (能代市) 漢字  
奥山 朱鳳 (大仙市) 調和体

### ●会友出品

長沢 薫 (秋田市) 漢字  
古田 柯香 (秋田市) 漢字  
佐藤 穎 (潟上市) 漢字  
佐藤 珠苑 (北秋田市) 漢字  
浅野 玉韻 (秋田市) かな  
松塚 汪泉 (秋田市) 調和体

### ●入選

佐々木嶂芳 (秋田市) 漢字  
佐藤 桂葉 (秋田市) 漢字  
佐藤 聖賢 (秋田市) 漢字  
田村 芳汀 (秋田市) 漢字  
野村 玉泉 (秋田市) 漢字  
眞田 錦水 (横手市) 漢字  
巽 紫龍 (大館市) 漢字  
鈴木 滂春 (男鹿市) 漢字  
伊藤 京子 (秋田市) かな  
伊藤 富美子 (秋田市) かな

# 第74回 毎日書道展

東北山形展 10月18日(水)～22日(日)  
山形美術館

### ●秀作賞

堀井 直子 (由利本荘市) 大字

### ●佳作賞

遠藤 佳苗 (由利本荘市) 近代詩文  
佐々木幸子 (由利本荘市) 近代詩文  
酒井 佇泉 (仙北市) 近代詩文

### ●入選

大黒 禾苑 (秋田市) 漢字 I  
保坂 省峰 (秋田市) 漢字 I  
竹村 和佳 (男鹿市) 漢字 I  
柿沼希和子 (横手市) 漢字 II  
寺田 敦子 (横手市) 漢字 II  
藤田 勢子 (横手市) 漢字 II  
佐藤 晃山 (井川町) 漢字 II  
遠藤 佳苗 (由利本荘市) 漢字  
遠藤芙美子 (由利本荘市) 漢字  
熊谷 貞子 (由利本荘市) 漢字  
佐々木幸子 (由利本荘市) 漢字  
佐藤 敏子 (由利本荘市) 漢字  
酒井 佇泉 (仙北市) 漢字  
栗林 千春 (横手市) 大字

秋田県唯一の  
月刊教育書道誌



～おかげ様で創刊70周年～

## 書友社

〒010-0954 秋田市山王沼田町11-11  
TEL 018-862-3484 FAX 018-862-3485  
MAIL shoyusha-akita@outlook.jp



### 美術表装一式

掛軸、和額、屏風、襖

## 中山表具店

〒011-0917 秋田市飯島道東二丁目4番10号  
TEL 018 (846) 8496



**これまでの  
主な展覧会**  
(連盟会員所属団体)

**第54回六葉會書展**  
(R5.4.14～4.17 アトリオン)



**第62回書友社全県新年書きぞめ展**  
(R5.3.3～3.5 秋田県立美術館)



**書友展**  
(R5.8.19～8.21 秋田県立美術館)



**秋田師山遺墨展**  
(R5.5.12～5.14 アトリオン)



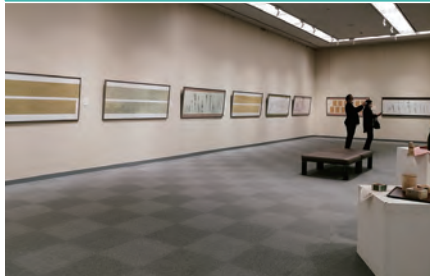
**第48回秋田県秀作美術展**  
(R5.3.9～3.12 秋田県立美術館)



**第4回秋田の書展**  
(R5.8.26～8.28 秋田県立美術館)



**第36回秋田一東書道会展**  
(R5.5.12～5.14 アトリオン)



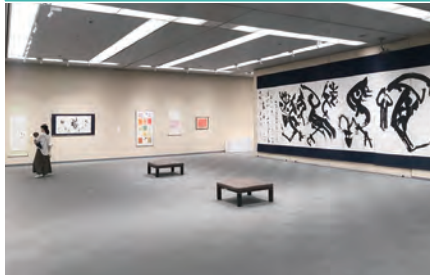
**第10回書遊会展**  
(R5.3.10～3.13 五城館)



**第38回書壇院秋田連盟展**  
(R5.9.1～9.4 アトリオン)



**第18回大同書展**  
(R5.5.18～5.22 アトリオン)



**第61回秋田市書道会展**  
(R5.3.17～3.20 アトリオン)



**第14回秋田草心会書展**  
(R5.9.2～9.4 アトリオン)



**第35回記念清芽会書道展**  
(R5.6.16～6.19 カダーレ)



**第30回瀾の会小品展**  
(R5.4.7～4.9 アトリオン)



# ぶらり♪書道探訪

## 秋田県立近代美術館 企画展 「アキタの書・その魅力」

2024(令和6)年2月3日(土)

4月14日(日) 5階展示室

9:30~17:00(入館は16:30まで)

会期中無休 観覧無料

秋田県の南部・横手市に位置する秋田県立近代美術館は、1994(平成6)年の開館から間もなく30周年を迎えます。この間収蔵してきた作品・資料の総点数は2800点以上にのぼり、その内、書の作品は約260点、全体の一割ほどを占めています。本展ではこれらの書に焦点を当てて、明治から平成に至る当館の代表的作品とその魅力についてご覧いただきます。

展示作家の一人・赤星藍城(あかほしあきら)は1857-1937(宮城県生まれですが、医師として赴任した秋田の地で書壇の発展に尽力した人物です。中央の書壇と幅広く交流し、新進気鋭の書家たちを招聘して啓蒙活動を行い、県民の書への関心を高めました。近代書道の黎明期に、変わりつつある書の動向をリアルタイムで紹介することで秋田書壇の隆盛に大きな役割を果たしたのです。今年で86回を数え

る秋田魁新報社主催の「秋田書道展」の第1回展では、自身を中心となって設立した団体「書道研究斗南会」を率いて同じく県内の書団体である「秋田書道会」と共に同展一般の部へと参加し、現代書道の父と呼ばれた比田井天来(ひらいてんらい) (1872-1939)とともに審査員も務めています。

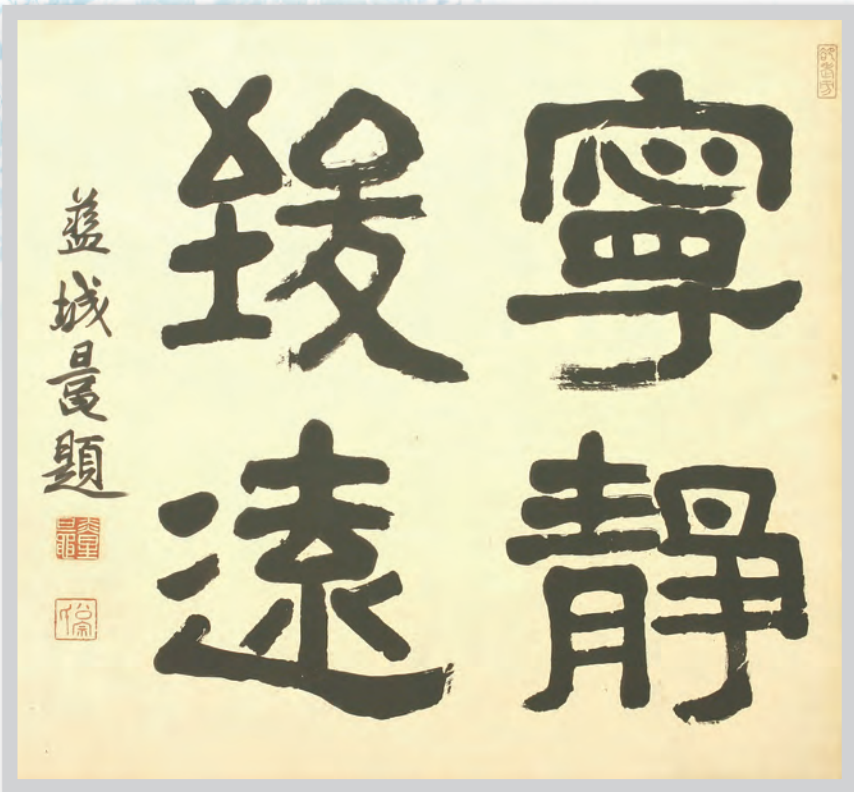
2003(平成15)年に当館へ寄贈された、藍城の《寧静致遠》(制作年不詳)という作品があります。「寧静にあらざれば遠きを致むることなし」と解釈されるこの一節は、「安らかな心で誠実な努力を積み重ねないと、遠くにある目的に到達することはできない」という意味です。出展は中国の古典「諸葛孔明伝」で、三国志に登場する蜀の軍師・諸葛亮孔明が「五丈原の戦い」で病没する前に、息子に宛てて書いた遺言の一節だそうです。中央から遠く離れた秋田の地に、地道な努力を重ねて近代書の礎を築いた藍城の生き様が反映されているように、実に興味深い作品です。

この他にも、日展・毎日書道展で活躍し、後進の育成にも尽力した横手市出身

の松井如流(1900-1988)や、秋田市出身の大井錦亭(1927-2020)らの作品も展示します。郷土の書の発展に貢献し、日本の書壇にも大きな足跡を遺した書家たちの作品を、是非この機会にお楽しみください。

「秋田県立近代美術館・学芸主事(兼班長)

木村 雅洋



赤星藍城書 「寧静致遠」

今後開催予定の主な展覧会

第11回 公雅会書展

令和5年9月30日(土)～10月1日(日)  
午前9時30分～午後5時  
(最終日午後4時閉場)

横手市交流センター<sup>2</sup>Yぷらざ

第41回 秋田墨滴窓友会書道展

令和5年11月3日(金)～5日(日)  
花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」

第46回 瀾の会書展

令和6年1月19日(金)～21日(日)  
アトリオン2F

第11回 書遊会展

令和6年3月8日(金)～11日(月)  
五城目町「五城館」

第31回 瀾の会小品展

令和6年4月12日(金)～14日(日)  
アトリオン3F

総務部・広報部に届いている展覧会を掲載しております。ご了承願います。

編集後記

今年は記録的な大雨による被害、猛暑と…異常気象が続いています。皆様体調はいかがでしょう？

秋田県立近代美術館で特別展「皇室の名宝と秋田一三の丸尚蔵館収蔵品展」が9月3日(日)まで開催されました。皇室代々に受け継がれてきた美術品類の中には、喪乱帖、更級日記、屏風土台等、書の名品も多数収蔵されていることは言うまでもありません。今回は目玉の伊藤若冲旭日鳳凰図の他、秋田ゆかりの作品も展示。代々受け継がれてきた文化芸術の情熱を感じた夏でもありました。(広報部一同)



会 員 募 集

日頃から本会の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本会は、より多くの書道を愛好する皆様に活躍と研修の場、作品発表の場、会員相互の情報交換の場などとしていただくため活動しております。

会員は随時募集しておりますので、事務局までお問い合わせ下さい。

事務局 秋田市泉菅野一丁目18-1

三 浦 湯 舟

情報社会に育つ

株式会社 塚田美術印刷

本社工場 / 〒010-0921 秋田市大町一丁目6番6号

TEL 018(823)5551(代)

FAX018(823)5553

URL : <http://www.akita21.com/tsukada/>  
E-mail : [tsukabi@cna.ne.jp](mailto:tsukabi@cna.ne.jp)